

リモコン式草刈機研修会を開催

- ▼発生年月日：2023/8/29
- ▼執筆者名：神余 暢一
- ▼センター名：西讃農業改良普及センター
- ▼部門分類：総括
- ▼活動分類：その他技術
- ▼公開：公開
- ▼備考：
- ▼本文

1) 近年、担い手の減少・高齢化による労働力不足が深刻となる中、ロボット、AI、IoT など先端技術を活用したスマート農業技術の取組みが進んでいます。

そこで、8月29日、宝山湖公園サッカー場の法面において、畦畔管理作業の大幅な負担低減が期待できる「リモコン式草刈機」について、農機具メーカー3社から協力いただき、研修会を開催しました。

当日は、農業者や関係機関の担当者など約60名が参加しました。

2) はじめに、普及センターから、国の事業(スマート農業実証プロジェクト)を活用して全国41地区で行われたリモコン式草刈機の実証結果や導入に向けた課題などについて説明しました。

その後、(株)中四国クボタ、ヤンマーアグリジャパン(株)、香川三菱農機販売(株)のメーカーごとに実演機種の説明と草刈作業の実演が行われました。

3) 各メーカーの説明や実演の際には、参加者から活発な質疑が行われ、「一回の給油でどのくらいの時間作業できるのか」、「リモコンの電波が届く距離はどのくらいなのか」、「刈刃の交換時期や費用はどのくらいか」などの質問があり、それぞれの内容について詳しく説明していただきました。

4) 導入するには、投資に見合う活用方法の検討や導入機種の決定、維持費の確保などの課題が考えられますが、普及センターでは引き続き、スマート農業技術の取組みを支援します。



普及センターから畦畔管理の説明



リモコン式草刈り機実演の様子